

2024年1月

衆議院議長 細田 博之 殿

参議院議長 尾辻 秀久 殿

陳情者 ハイタクフォーラム

(全自交労連・交通労連ハイタク部会・私鉄総連ハイタク協議会)

危険なライドシェアを許さず

安全な公共交通を守るための請願

◆請願趣旨

ライドシェアは利用者の安全をおびやかす危険な移動手段であり、日本には不要です！

ライドシェアは、二種免許を持たず体調やアルコールのチェックすら受けない一般ドライバーが、整備・点検の不十分な自家用車で、料金を取って利用者を運ぶ『白タク』です。

海外では、交通事故・性犯罪・強盗・傷害や殺人の多発、不透明な料金や働く人のワーキングプア化が大きな問題となり、先進国の約8割が禁止しています。

一方で、日本の公共交通機関は信頼性と安全性、顧客サービスの面で世界に誇る品質を保ってきました。現場で働く、私たち交通運輸労働者が、責任をもって利用者の命を預かり、サービスの向上に努めてきたのです。ライドシェアを導入し、私たちが必死で守ってきた輸送の安全を踏みにじることは絶対に許すことができません。これからも安全で利便性の高い日本の公共交通を守っていくために、以下の事項を請願します。

◆請願項目

- ライドシェアについては「運行管理や車両整備等について責任を負う主体を置かないままに、自家用車のドライバーのみが運送責任を負う形態を前提としており、安全の確保、利用者の保護等の観点から問題がある」「特区という形でもライドシェアを認めるということは考えていない」との政府方針を堅持し、特区限定や条件付きでの解禁も含めて、一切認めないこと。
- 社会に不可欠な役割を果たしている交通運輸労働者の待遇改善と交通運輸産業で働くことへの魅力・やりがいの向上を進めて担い手不足を解消し、持続可能な地域公共交通の維持・発展に努めること。
- 観光地や交通空白地、過疎地の交通問題については、改正されたばかりの地域交通法に基づき、鉄道・バス・タクシーなどの既存の交通資源をフル活用して対応すること。

氏名	住所
	都道 府県

※署名は自筆、住所は番地・部屋番号まで記入し、「同」や「〃」などで省略しないようお願いいたします。